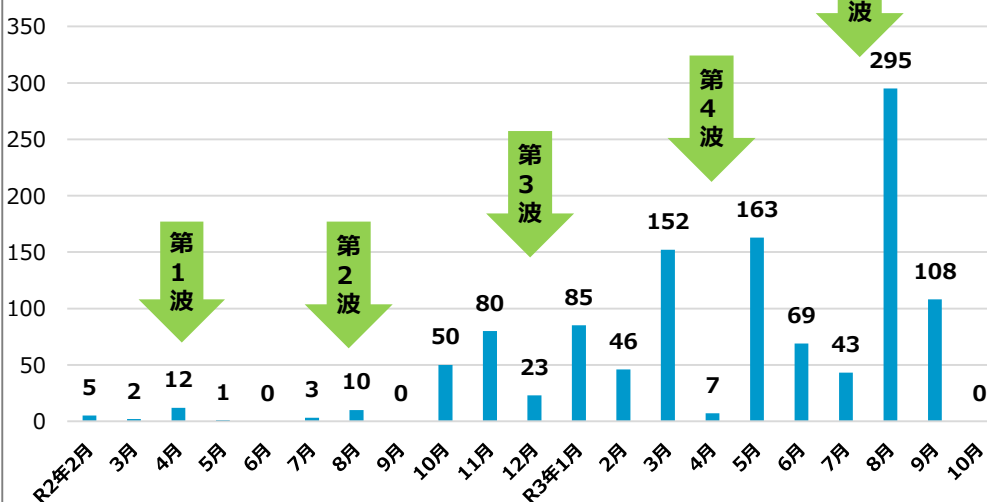


釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況とインフルエンザについて

緊急事態宣言が9月末で解除になりました。9月後半から北海道内でも感染者数が減少しています。第5波が落ち着いてもいつ第6波が来るかわかりません。これまで通り感染対策の継続が必要です。そして、インフルエンザの流行期に入ります。昨年はインフルエンザの感染者が劇的に減少しました。今回も釧路管内の発生状況とインフルエンザについて取り上げます。

釧路管内 COVID-19発生件数

10/18現在



今回は第1波から第5波がどのあたりだったかお示してみました。こうしてみると徐々に発生数が増加しているのがわかります。8月、最も多くの感染者が出ましたが9月中旬から減少し、緊急事態宣言が9月30日で解除となりました。でも、感染対策はしっかり実施していきましょう。

釧路市では20代のワクチン接種が始まりました。若い世代の方がワクチンを接種できるようになりました。副反応を怖がりワクチン接種を拒否する人もいますが、副反応は一時的なことが多く、ワクチンを接種しないほうが大きなリスクを伴うと思います。ぜひ、怖がらずワクチンを接種して下さいね。



インフルエンザワクチンについて

COVID-19の流行し、手洗い・手指消毒・マスクの着用が定着したこともあって昨年はインフルエンザが減少しました。症状はCOVID-19と似ています。発熱や咳、倦怠感、味覚障害などがある場合はかかりつけ医や釧路保健所へ相談して下さい。

当院では外来受診時のインフルエンザワクチン接種が10月18日から開始となります。当院ではインフルエンザワクチン接種は予約不要ですが供給量により終了することもありますのでお早めに接種することをお勧めします。

インフルエンザの特徴

インフルエンザ	
症状	発熱、咽頭痛、咳、倦怠感、頭痛、鼻汁、悪寒など
潜伏期間	1~2日程度
感染経路	飛沫・接触感染
治療	タミフル、イナビル、リレンザなど
ワクチン	インフルエンザワクチン

コロナウイルスワクチンと別の種類のワクチン接種を希望している方へ

徐々に若い世代へとコロナウイルスワクチン接種が進んできました。そして、インフルエンザ流行期に入ってきたため、インフルエンザワクチンも接種時期になります。

コロナウイルスワクチンは原則として同時に他の種類のワクチンを接種できません。厚生労働省では片方のワクチン接種が終わってから2週間、間隔をあげるようにお知らせしています。

例：10月1日にコロナワクチン接種。別の種類のワクチンは10月15日以降で接種可能
ワクチン接種の際には問診医に別のワクチン接種予定がある場合、必ずお伝えください。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

北海道では緊急事態宣言が解除されました。今後も最新の情報をご確認下さい。検査を受けた方は、結果が出るまでは外出せず、ご自宅で結果をお待ちください。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所、北海道相談センター等にご相談下さい。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。受診の際には必ず、マスクを着用して下さい。当院の受診時は付き添いの方は1名までとさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。